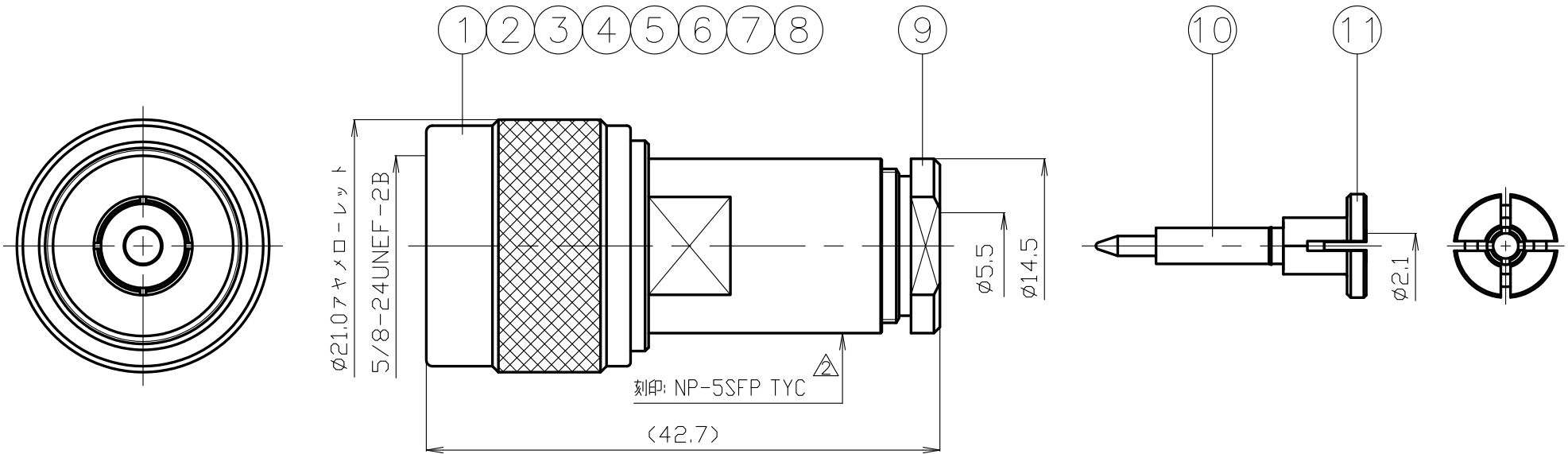


番号	変更・記事	日付	確認
△1	品名：NP-5SFP に変更	2004.01.23	済
△2	刻印：NP-5SFP TYC に変更	2004.01.23	済
△3	社名変更	2012.01.05	済
△4	図面外観化、RoHS表記追記	2017.01.27	(山本)
△5			



11	絶縁体B	ジラコン	1	--	
10	中心コンタクト	黄銅	1	Au	
9	締付金具	黄銅	1	Ni	
8	シェル	黄銅	1	Ni	
7	クランプ	黄銅	1	Ni	
6	フェルール	黄銅	1	Ni	
5	ブッシング	黄銅	1	Ni	
4	保持リング	リン青銅	1	--	
3	絶縁体A	テフロン	1	--	
2	ガスケット	シリコンゴム	1	--	
1	接続ナット	黄銅	1	Ni	
番号	部品名	材質	数量	処理	備考

尺度	2/1
単位	mm
日付	2004.01.08

製図	検図	承認	確認
渡邊 '17.01.27 直弘	檜 '17.01.27 澤	山 '17.01.27 本	三 '17.01.27 村



RoHS Compliant	
REMARKS	BRASS: Cd ≤ 75ppm PHOSPHOR BRONZE: Pb < 4wt%

品名	△ NP-5SFP
図番	Y-0512108

仕 様 書

品 名 NP-5SFP

No. 0510738

図 番 Y-0512108

株式会社トーコネ

定 格 1 参考規格
2 定格電圧
3 定格周波数
4 公称インピーダンス

JIS C5411
AC 500V
4 GHz
50 Ω

確 認	検 印	作 成
山 14.09.26 本	檜 14.09.26 澤	山 14.09.26 本

	項 目	条 件	規 格
1	構造及び形状寸法 材 質 仕上げ及び表示	添付図に示す (図番 Y-0512108)	異常のないこと
2			
3			
4	電 絶縁抵抗	DC 500V	1000M Ω 以上
5	気 耐電圧	AC 1000V 1分間	異常のないこと
6	的 接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1kHzの交流又は 直流で1mVを越えない方法にて	3m Ω 以下
7	特 電圧定在波比	周波数 0.3MHz ~ 4 GHzまで	1.2以下
8	機 互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常なく結合すること
9	械 ケーブル接続強度	軸方向引張力 150Nを加えたとき	異常のないこと
10	的 結合部接続強度	軸方向引張力 約294Nを加えたとき	接続ナットに 異常のないこと
11	性 繰り返し動作	5000回の抜き差し後	接触抵抗は10m Ω 以下
12	適合ケーブル	5D-SFA ※注1: 内部導体がヨリ線タイプのケーブルには使用できません。	

GKQM-19-1

	変更履歴	日 付
1	社名変更	2012.01.05
2	適合ケーブル追記 ・ ※注1 追記	2014.09.25
3		

NP-5SFP 取付仕様書

適合ケーブル

5D-SFA

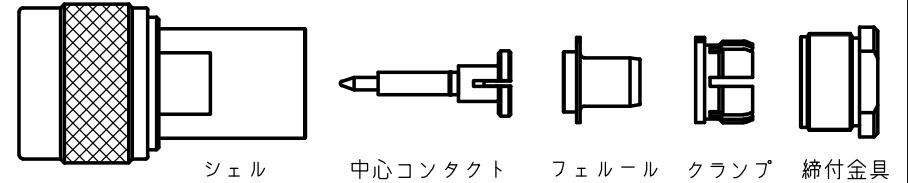
※注意：内部導体がヨリ線タイプのケーブルには使用できません。

図番 Y-0512108



作成	確認
山	山
'12.01.05	'12.01.05
口	本

部品構成



1

番号	変更・記事	日付
1	社名変更	2012.01.05

同軸ケーブルに締付金具、クランプを通し
同軸ケーブルを図中の寸法で切り取る。

4

中心コンタクトを中心導体に差込み、セットする。
注意：図中の部分に隙間が無いことを確認すること。

2

外部導体をカットする。

外部導体を均等に放射状にほぐして、銅箔が見える状態にし
正面から見て、外部導体をシースの外径にて切りそろえる。
銅箔を図中の寸法で切り取る。

5

シェルの凹部の1箇所にてフェールール、クランプの凸部分を合わせて、
シェルに挿入し、締付金具をスパナで締め付けて完了する。

3

フェールールの端面とケーブルの絶縁体の端面を合わせる

フェールールを銅箔と外部導体の隙間に差込む。
注意

- 1 挿入時、コネクターが曲がったりケーブルが膨れたりしないこと。
- 2 挿入時、銅箔のめくれ、変形に注意すること。
- 3 フェールールの端面にケーブルの絶縁体の端面が合っているか確認すること。